

病病連携でクラスターを防ぐ仕組みの構築～4 病院間 PCR 連携～

法人名 平塚市民病院
病院名 平塚市民病院
職種・所属 事務・経営企画課
発表者氏名 加藤亮介
協力者氏名 山田健一郎 相澤史幸 佐藤和栄

【目的】

令和2年度の上半期は、新型コロナウイルス感染症の院内クラスター発生が各所から報告された。新型コロナウイルス感染症の院内感染が発生すると救急や通常診療の受入制限などにより、近隣の病院の負担が生じ、地域医療崩壊の恐れがある。病院内で新型コロナウイルス感染症が発生した場合には、早期に検査結果を得て、感染範囲を特定し、対応することで診療機能の低下を最小限にとどめることができるため、効率的な検査体制の構築が必要と考えた。

【方法】

病院単独の検査能力には限界があることや外部業者への委託では検査結果を得るまでに時間を要することから、なるべく早期に数多くの検査結果を得るため当院の病院長から他院の病院長に働きかけて PCR 検査の実施について、地域で連携することとした。

【結果】

平塚、中郡にある平塚共済病院、東海大学大磯病院、済生会湘南平塚病院、当院の4病院間で、新型コロナウイルス感染症の院内感染が発生した場合に備え、互いにPCR検査を行う協定を締結した。その結果、自院で実施可能な検査数の約2倍程度を即日実施できるようになった。

【考察】

現時点では、この協定に基づき相互にPCR検査を実施した実績はないが、地域医療を守るために地域の病院間で有効な連携をすることができたと考えている。